

# 2015年9月期決算説明会



株式会社アサカ理研

2015年11月25日

## 本日のポイント

### □ 2015年9月期業績:売上増、営業・経常黒転

- ・マレーシア子会社の売上計上等による増収
- ・大規模研究開発投資一巡、コスト削減による営業・経常黒転

### □ 2016年9月期業績予想

- ・売上高は微増
- ・金属価格の下落による減益

### □ 経営戦略について

- ・レアメタル・レアアース事業の状況と今後
- ・海外子会社の事業拡大

# 目次

- 第一部 2015年9月期決算実績
- 第二部 2016年9月期業績予想
- 第三部 経営戦略について

- 前期比「増収」「増益」

- 売上高変動の主要因

- (減少要因)取引の見直し
- (増加要因)貴金属価格の上昇
- (増加要因)海外子会社の売上加算

➡ 増収

- 利益変動の主要因

- 大規模技術開発投資の一巡
- 貴金属価格の上昇
- 取引条件の見直し
- 製造の効率化
- 全社的なコスト削減

➡ 増益

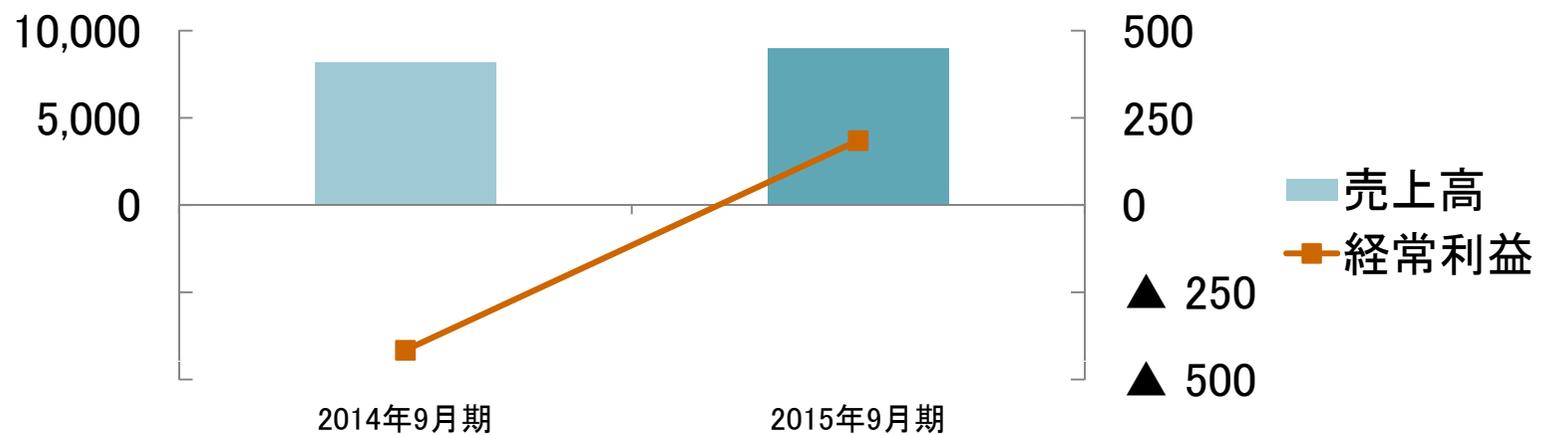
- **国内景気**
  - 経済・金融政策による円安進行と株価上昇
  - 景況感はゆるやかに回復も不透明感示す
- **電子部品・デバイス工業**
  - モバイル情報端末の普及による需要増加
  - 生産は回復基調、円安を背景に生産の国内回帰も
- **金属価格**
  - 金:ドルベース価格底堅い、円安で前期を上回る水準に
  - 銅:平均価格は前期をやや上回る

## 当期の取り組み

- **レアメタル・レアアースのリサイクル技術開発**
  - 福島県いわき市の研究開発拠点
  - 新しい溶媒抽出技術であるエマルション・フロー法
  - 研究開発・生産技術開発を継続
- **マレーシアでの市場開拓**
  - JICA「中小企業連携促進基礎調査」採択
  - マレーシア国における「e-wasteからの有価金属回収事業調査」
- **既存事業の効率化**
  - 製造コスト、管理コスト削減による体質強化

# 決算ハイライト

	2014年9月期		2015年9月期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前年同期比	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,189	<b>8,964</b>	775	9.5
売上総利益	1,212	<b>1,469</b>	257	21.2
営業利益	▲ 402	<b>210</b>	613	-
経常利益	▲ 416	<b>185</b>	602	-
純利益	26	<b>125</b>	99	380.1

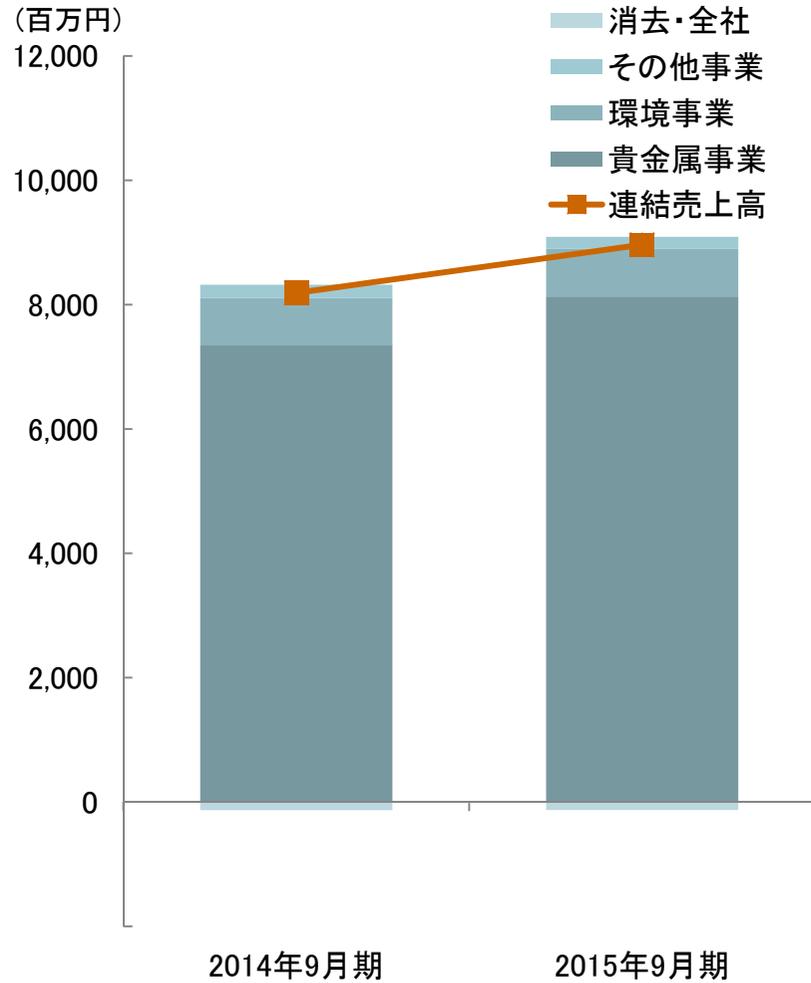


# セグメント別業績①

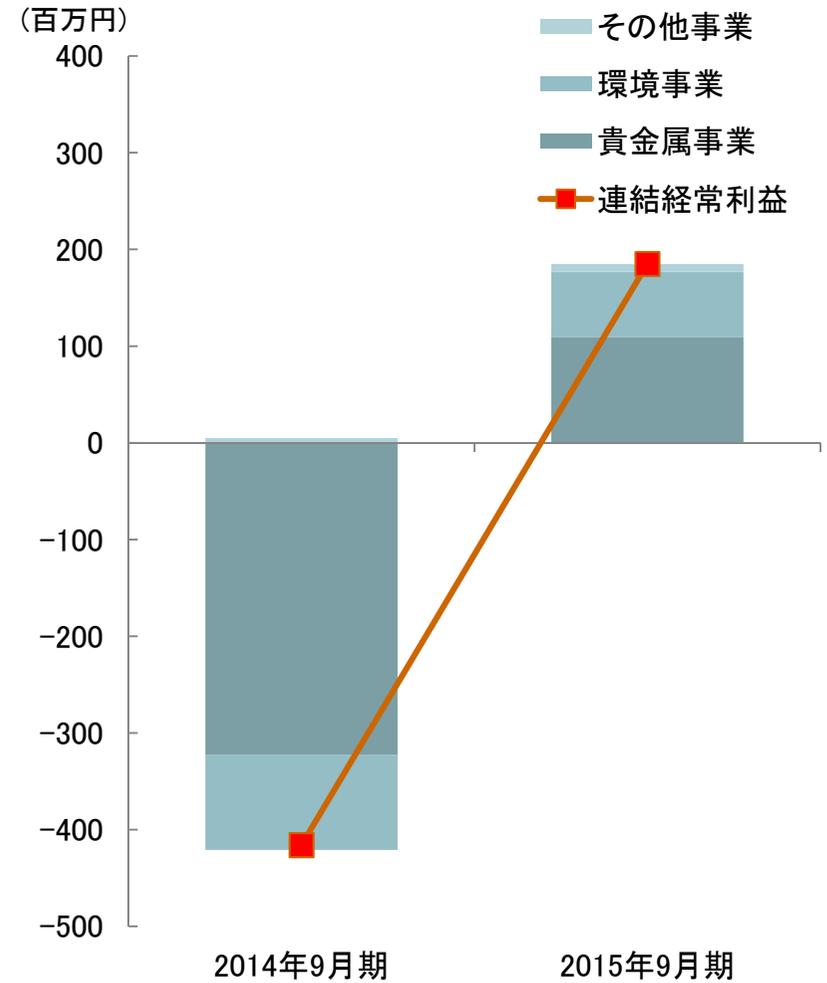
	2014年9月期		2015年9月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連結売上高	8,189		<b>8,964</b>		775	9.5
貴金属事業	7,356	88.4	<b>8,133</b>	89.4	776	10.6
環境事業	751	9.0	<b>765</b>	8.4	14	1.9
その他	214	2.6	<b>195</b>	2.2	▲ 18	▲ 8.8
計	8,322	100.0	<b>9,094</b>	100.0	772	9.3
消去	▲ 132		▲ 129		3	-
セグメント利益	▲ 416		<b>185</b>		602	-
貴金属事業	▲ 323	77.7	<b>109</b>	59.0	433	-
環境事業	▲ 98	23.5	<b>68</b>	36.7	166	-
その他	5	▲ 1.3	<b>8</b>	4.3	2	53.0
計	▲ 416	100.0	<b>185</b>	100.0	602	-

## セグメント別業績②

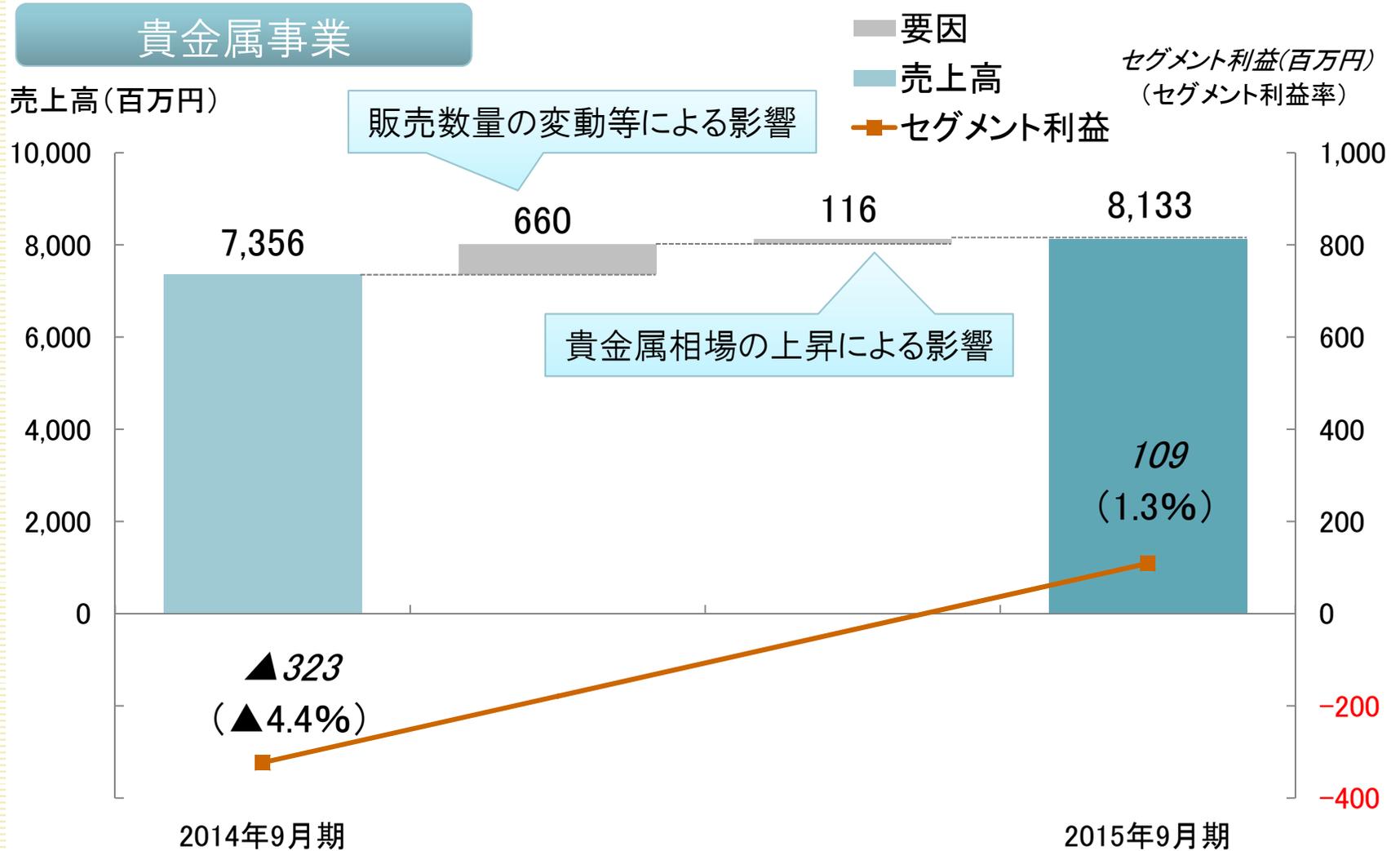
### 売上高



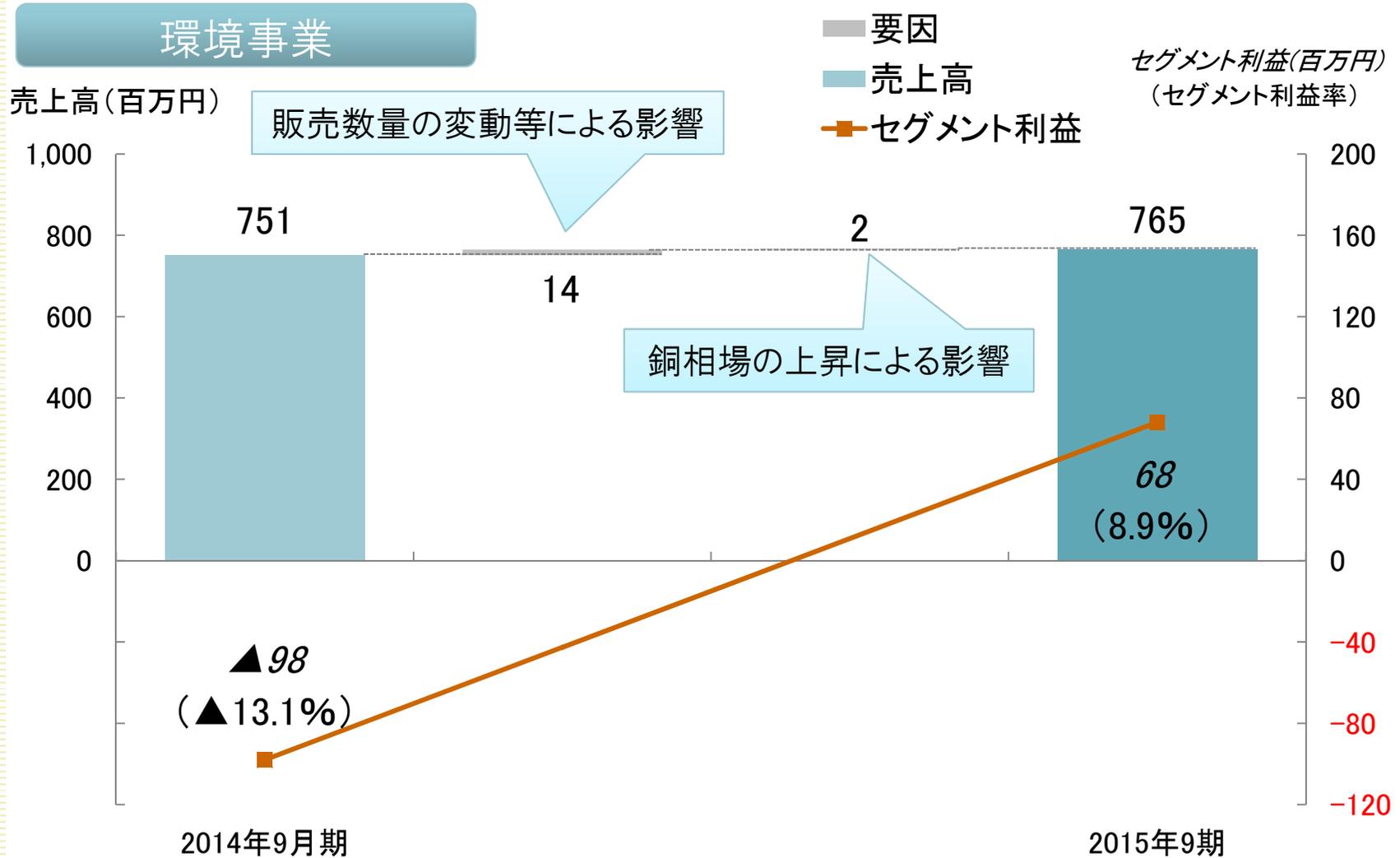
### 経常利益



# セグメント別業績③

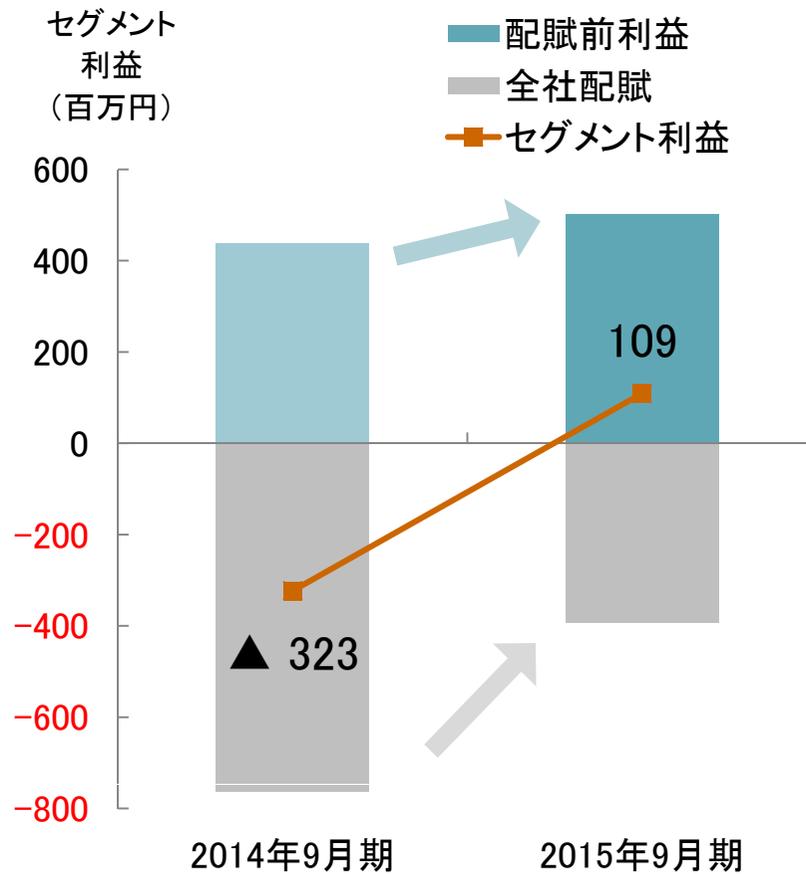


# セグメント別業績④

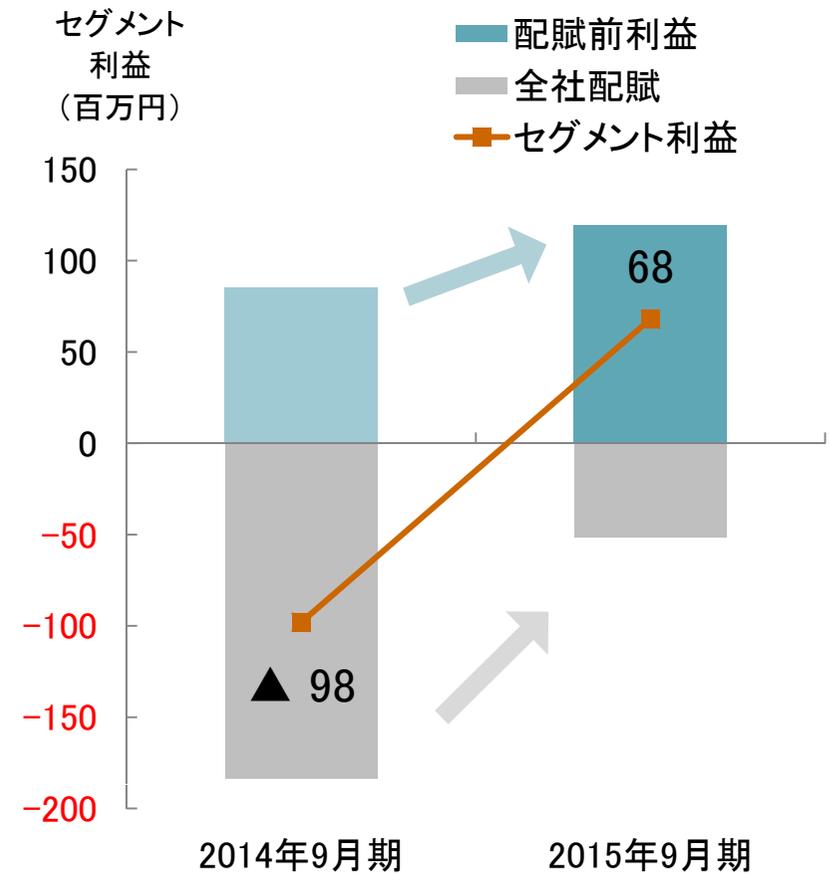


# セグメント別業績⑤

## 貴金属事業



## 環境事業



# 連結損益の状況

	2014年9月期		2015年9月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,189	100.0	<b>8,964</b>	100.0	775	9.5
売上原価	6,977	85.2	<b>7,495</b>	83.6	517	7.4
売上総利益	1,212	14.8	<b>1,469</b>	16.4	257	21.2
販管費	1,614	19.7	<b>1,258</b>	14.0	▲356	▲22.1
営業利益	▲402	▲4.9	<b>210</b>	2.4	613	-
営業外収益	27	0.3	<b>19</b>	0.2	▲7	▲28.6
営業外費用	41	0.5	<b>44</b>	0.5	3	8.3
経常利益	▲416	▲5.1	<b>185</b>	2.1	602	-
特別利益	446	5.5	<b>23</b>	0.3	▲423	▲94.8
特別損失	1	0.0	<b>4</b>	0.1	2	159.3
純利益	26	0.3	<b>125</b>	1.4	99	380.1

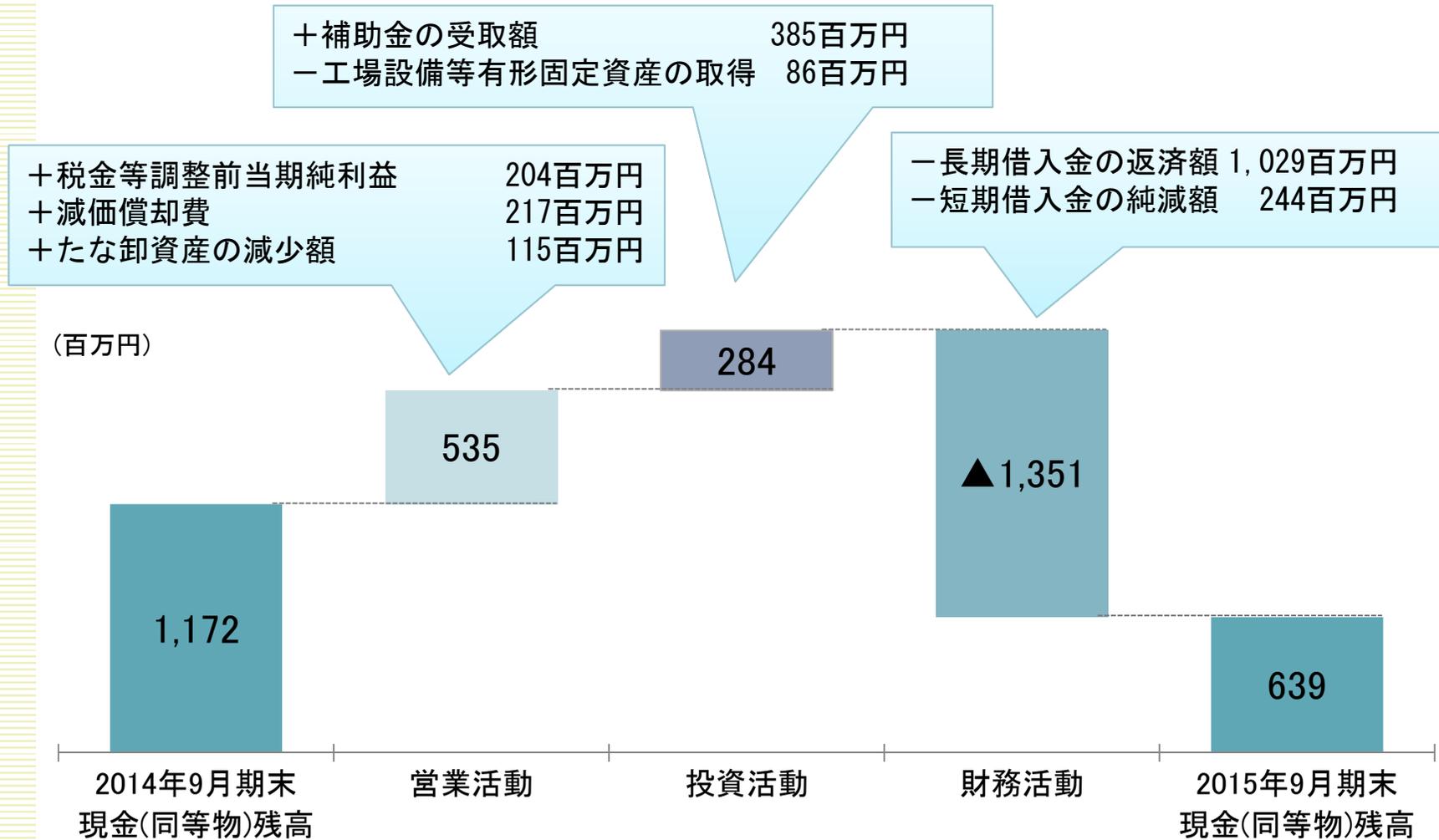
# 連結財務の状況

		2014年9月期末		2015年9月期末		前年同期比	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
資	流動資産	3,471	52.4	<b>2,392</b>	43.5	▲ 1,078	▲ 31.1
	固定資産	3,150	0.0	<b>3,111</b>	0.0	▲ 38	▲ 1.2
資産合計		6,621	100.0	<b>5,504</b>	100.0	▲ 1,116	▲ 16.9
負	流動負債	1,704	25.7	<b>1,558</b>	28.3	▲ 145	▲ 8.6
	固定負債	2,706	40.9	<b>1,595</b>	29.0	▲ 1,110	▲ 41.0
	負債合計	4,410	66.6	<b>3,154</b>	57.3	▲ 1,256	▲ 28.5
純資産合計		2,210	33.4	<b>2,350</b>	42.7	139	6.3
負債純資産合計		6,621	100.0	<b>5,504</b>	100.0	▲ 1,116	▲ 16.9

## 増減理由

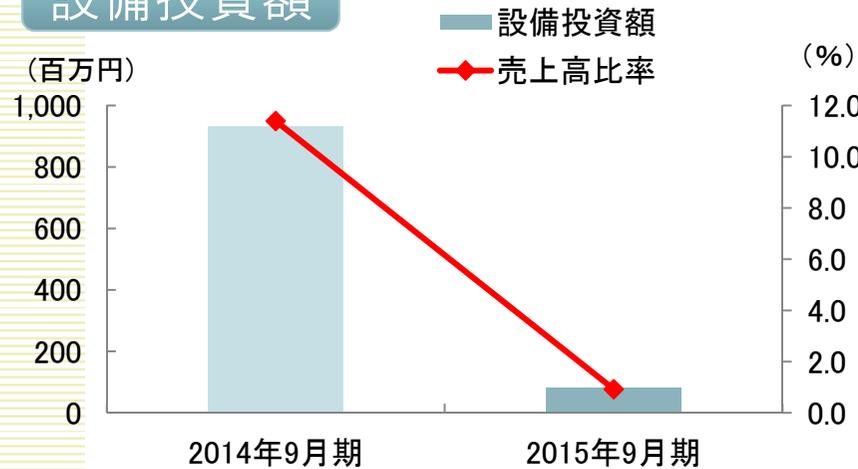
- 資産合計                    -1,116百万円                    現金及び預金-533、その他流動資産-368
- 負債合計                    -1,256百万円                    借入金-1253
- 純資産合計                +139百万円                      利益剰余金+139

# キャッシュ・フローの状況

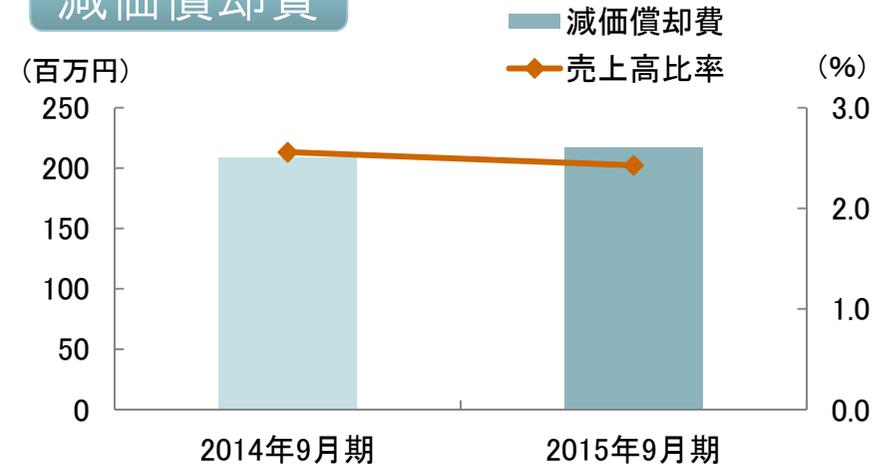


# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

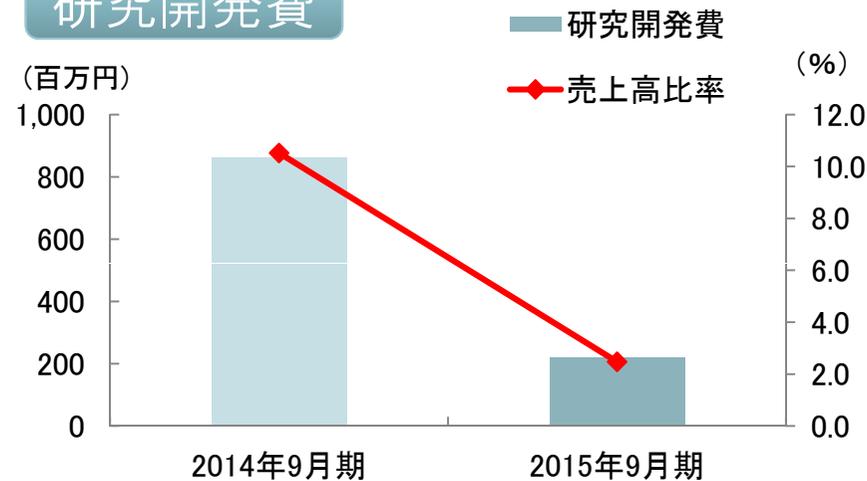
## 設備投資額



## 減価償却費



## 研究開発費



# 目次

- 第一部 2015年9月期決算実績
- **第二部 2016年9月期業績予想**
- 第三部 経営戦略について

# 2016年9月期業績予想のポイント

## ■ 売上微増、営業・経常減益

- マレーシア子会社の収益拡大で売上増
- 金属価格の下落により、利益水準低下

## ■ 金属価格

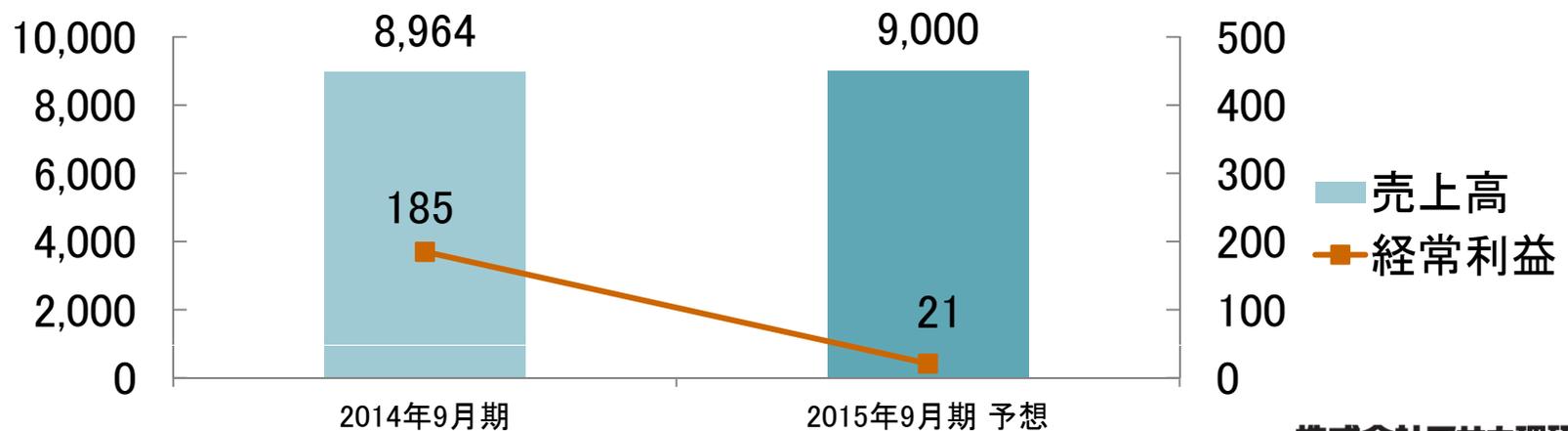
- 米国金融緩和縮小により、相場は弱含みで推移すると見込む
- 想定価格は金4,000円/g、銅600千円/t

## ■ 当社の取組み

- いわき工場での新規事業、マレーシアでの貴金属事業立ち上げ
- 製造工程の自動化等による既存事業の更なる効率化やコスト削減

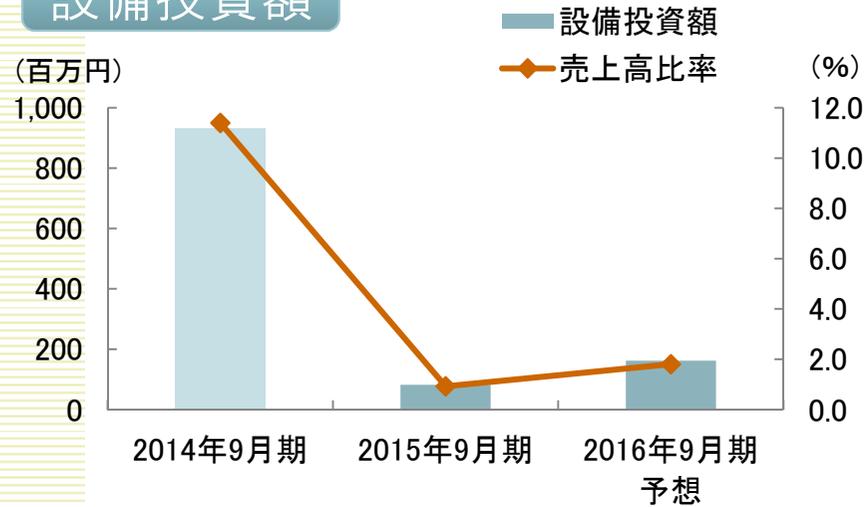
# 業績予想

	2015年9月期		2016年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,964	100.0	<b>9,000</b>	100.0	35	0.4
売上総利益	1,469	16.4	<b>1,366</b>	15.2	▲ 103	▲ 7.0
営業利益	210	2.4	<b>74</b>	0.8	▲ 136	▲ 64.9
経常利益	185	2.1	<b>35</b>	0.4	▲ 150	▲ 81.1
当期純利益	125	1.4	<b>21</b>	0.2	▲ 104	▲ 83.3

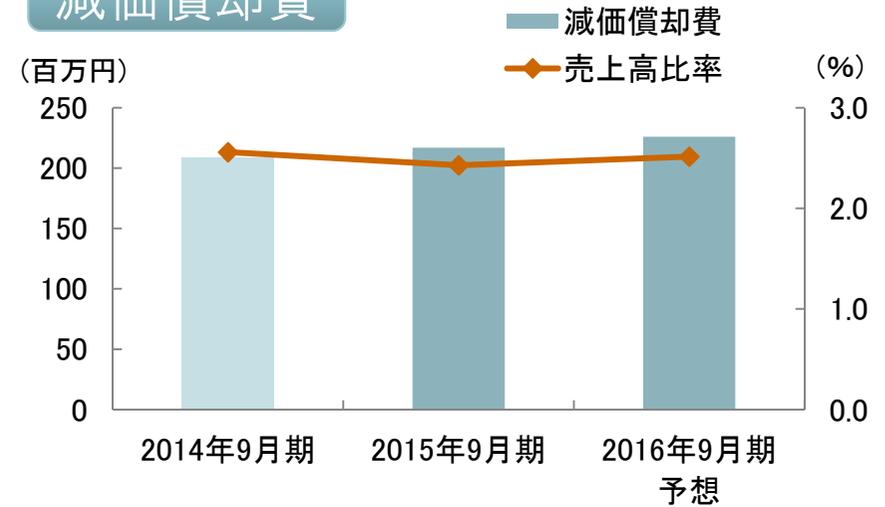


# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

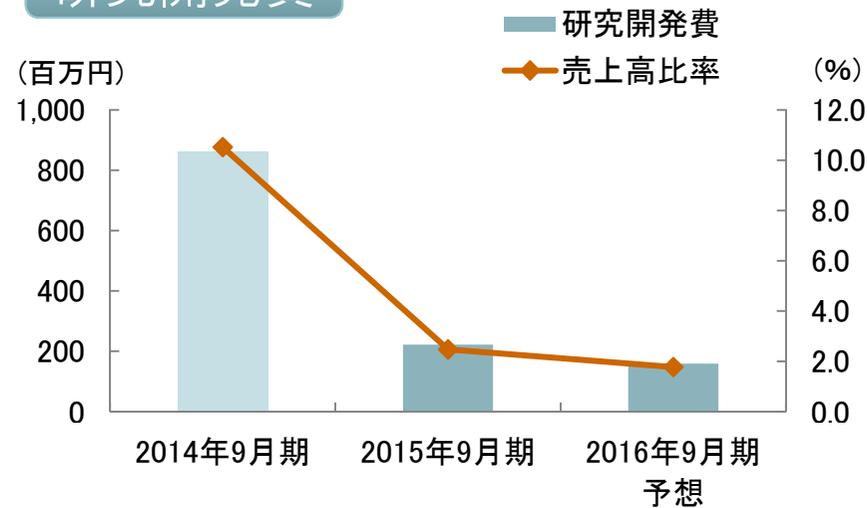
## 設備投資額



## 減価償却費



## 研究開発費



# 連結損益予想

	2015年9月期		2016年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,964	100.0	<b>9,000</b>	100.0	35	0.4
売上原価	7,495	83.6	<b>7,634</b>	84.8	138	1.8
売上総利益	1,469	16.4	<b>1,366</b>	15.2	▲ 103	▲ 7.0
販管費	1,258	14.0	<b>1,292</b>	14.4	33	2.7
営業利益	210	2.4	<b>74</b>	0.8	▲ 136	▲ 64.9
営業外収益	19	0.2	<b>9</b>	0.1	▲ 10	▲ 53.9
営業外費用	44	0.5	<b>48</b>	0.5	3	7.4
経常利益	185	2.1	<b>35</b>	0.4	▲ 150	▲ 81.1
特別利益	23	0.3	<b>0</b>	0.0	▲ 23	▲ 100.0
特別損失	4	0.1	<b>0</b>	0.0	▲ 4	▲ 100.0
純利益	125	1.4	<b>21</b>	0.2	▲ 104	▲ 83.3

# 目次

- 第一部 2015年9月期決算実績
- 第二部 2016年9月期業績予想
- 第三部 経営戦略について

## □ 当社のこれまでの業績の特徴

- ▶ 外部環境に左右されやすい
- ▶ 外部環境とは、電子部品・デバイス工業分野の生産動向や貴金属及び銅の価格変動

## □ 安定した成長に向けた新規事業開発方針

- ▶ 外部環境の影響を受けにくい事業構造を実現
- ▶ 貴金属地金の販売から、付加価値を高めた製品への移行
- ▶ 技術開発投資により技術を蓄積し、新事業の創出を推進

## □ 新規事業開発の具体的テーマ

- ▶ 当社のコア技術である湿式分離技術を活かしながら、レアメタル・レアアースに対象品目の拡大を図る
- ▶ マレーシアを足がかりに、東南アジアで都市鉱山ビジネスを展開する
- ▶ 光触媒事業の拡大を図る

# 新規事業テーマの進捗状況

事業	現状
レアメタル・レアアース回収	量産のための技術開発を継続し、 価格動向を見極め、回収対象を決定 今期一定規模の収益貢献を見込む
光触媒事業	太陽電池用途の拡大に向けた機能向上 福島再生可能エネルギー研究所 「被災地企業のシーズ支援プログラム」活用
海外事業	JICA中小企業連携促進基礎調査の結果を 活かし、貴金属事業の立ち上げを急ぐ 足元の黒字基調から、利益拡大へ

回収品目の拡大、高付加価値製品の開発などを模索中

# レアメタル・レアアース回収事業

## レアメタル

※「地球上の存在量が稀であるか、技術的・経済的な理由で抽出困難な金属のうち、安定供給の確保が政策的に重要」な非鉄金属（経済産業省による定義）。31 鉱種

## レアアース

※31 鉱種あるレアメタルの一種で、17種類の希土類元素の総称  
セリウム[Ce]、ランタン[La]など

### 高機能材

希土類磁石  
小型モータ

電子部品

次世代自動車

携帯電話・パソコン

デジタルカメラ

テレビ

### 製品の小型軽量化・省エネ化・環境対策

液晶

小型二次電池

燃料電池

排気ガス浄化

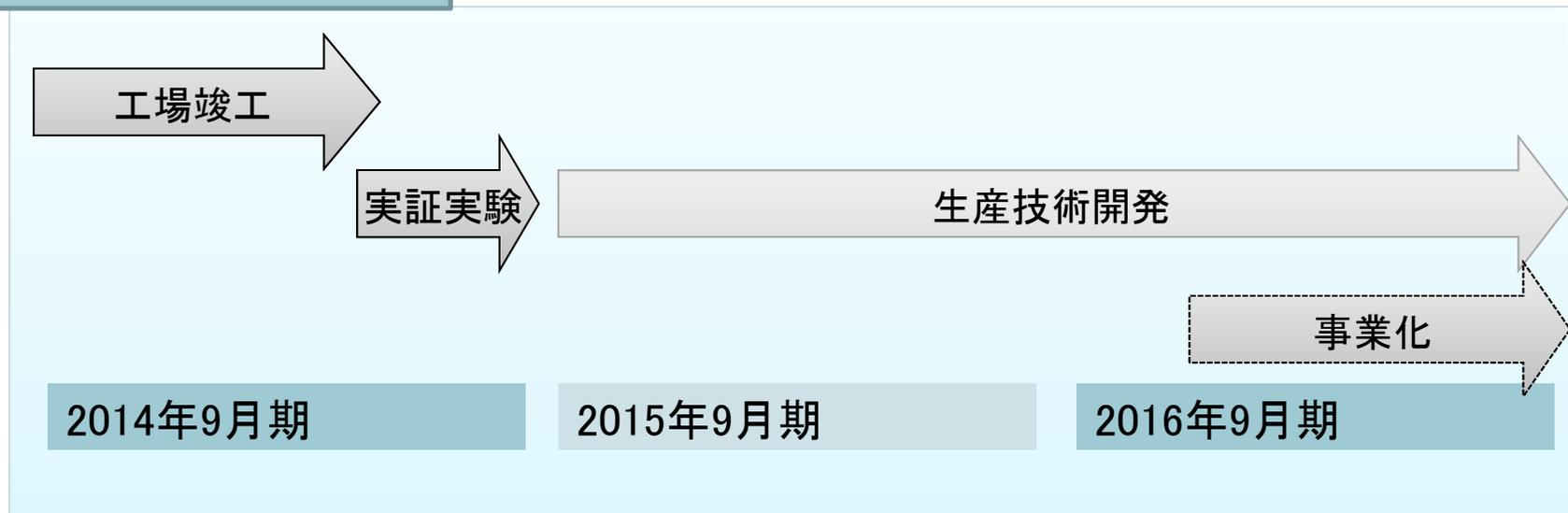
次世代自動車

コジェネ  
レーション  
システム

## レアメタル・レアアース回収事業②

- 2014年9月期      いわき工場竣工  
   ランタン・ガドリニウム分離試験に成功
- 2015年9月期      生産技術(量産技術)開発に着手
- 2016年9月期      生産技術開発を継続  
   順次事業化

### 事業スケジュール



# 光触媒事業(太陽光発電パネル向け)

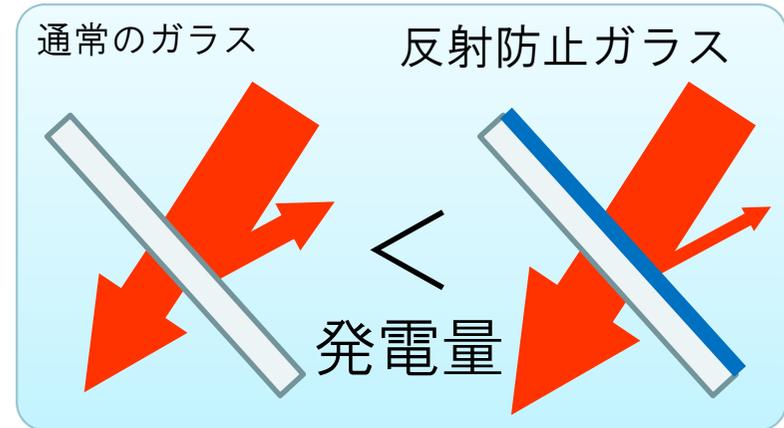
## 発電効率を高めるふたつの効果

### ①反射防止

カバーガラスでの光の反射を防ぎ、  
より多くの光をパネルに届ける

### ②防汚

光触媒作用により、汚れの付着を防ぎ、  
発電量の低下を抑える



## 産総研 福島再生可能エネルギー研究所 被災地企業のシーズ支援プログラム採択

「分子結合チタニアシリカを適用した

太陽電池パネルの性能評価および信頼性評価」

・平成26年度の成果

「カバーガラスの透過率の向上」「高温高湿条件下での特性維持」

・平成27年度は、より実用に近い形での性能評価、検証実験を実施



汚れの付着→発電量の低下

# 海外事業(中小企業連携促進基礎調査受託)

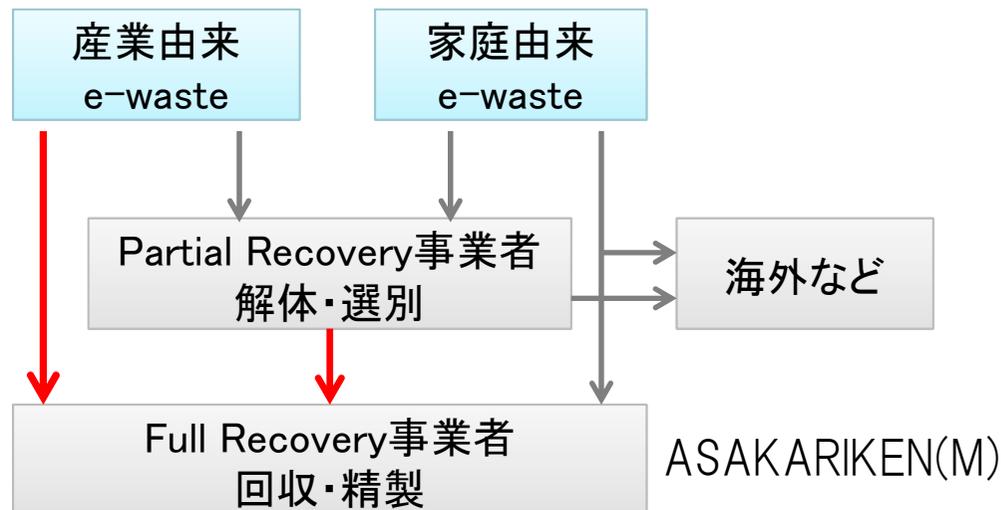
JICA(国際協力機構)より調査を受託

【テーマ】「e-wasteからの有価金属回収事業調査」

【期間】2015年3月～2016年2月

【目的】

- ・マレーシア国内のe-wasteの取引ルート、処理方法、取引価格を明らかにする。
- ・有価金属リサイクルの事業計画を策定する
- ・同国での有価金属のリサイクル量の拡大や、廃棄物の適正処理に係るコストの低減に貢献する





# 合併会社設立について

## 合併会社について

- (1) 名称 未定
- (2) 所在地 福島県郡山市
- (3) 代表者 代表取締役社長 本田 武保
- (4) 事業内容 SOLAR社製品の日本における販売
- (5) 資本金 10,000,000円
- (6) 設立年月日 2016年1月を予定
- (7) 出資比率 アサカ理研:51%、SOLAR社:49%



## SOLAR社について

- (1) 名称 SOLAR APPLIED MATERIALS TECHNOLOGY CORP.
- (2) 所在地 台湾 台南市
- (3) 代表者 Chairman Howard Chen
- (4) 事業内容 貴金属およびその他金属材料の製造販売、回収・精製、輸出入
- (5) 資本金 NT\$4,085,643,000(およそ154億円)
- (6) 設立年月日 1978年8月



## お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせは下記までお願いいたします

株式会社アサカ理研 経営企画室

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセロ47番地

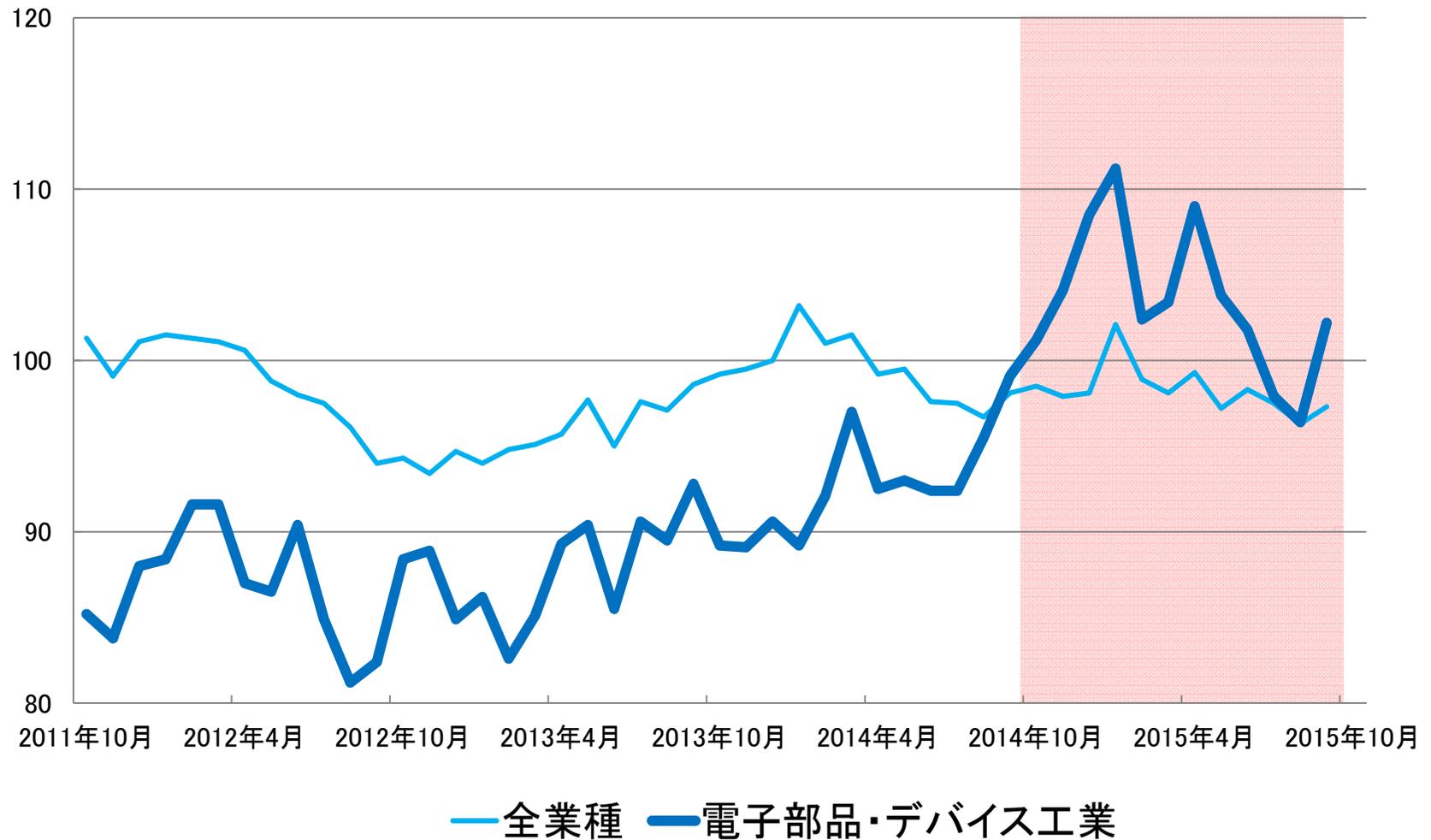
TEL:024(944)4744

FAX:024(944)4749

E-MAIL: [ir@asaka.co.jp](mailto:ir@asaka.co.jp)

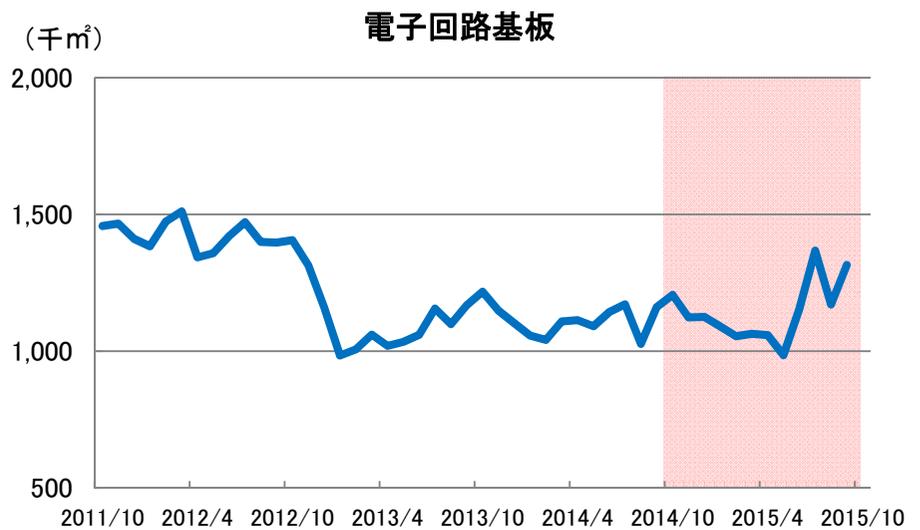
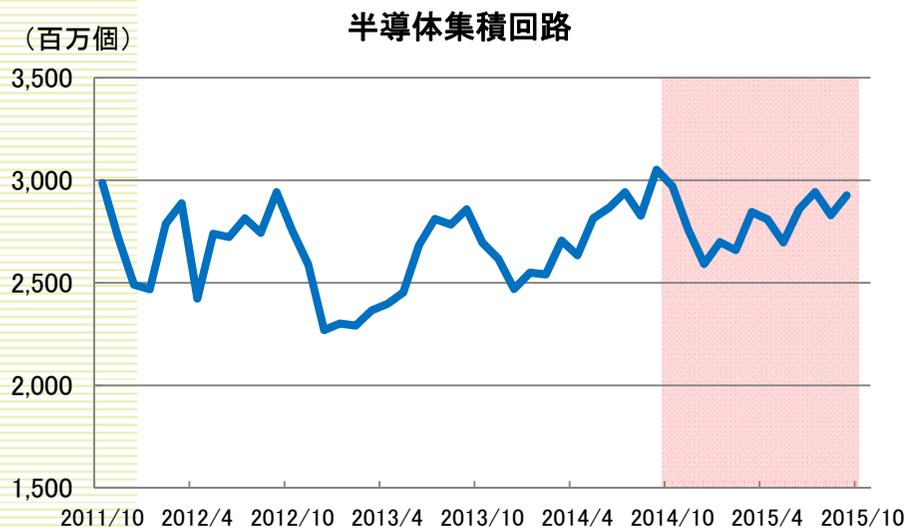
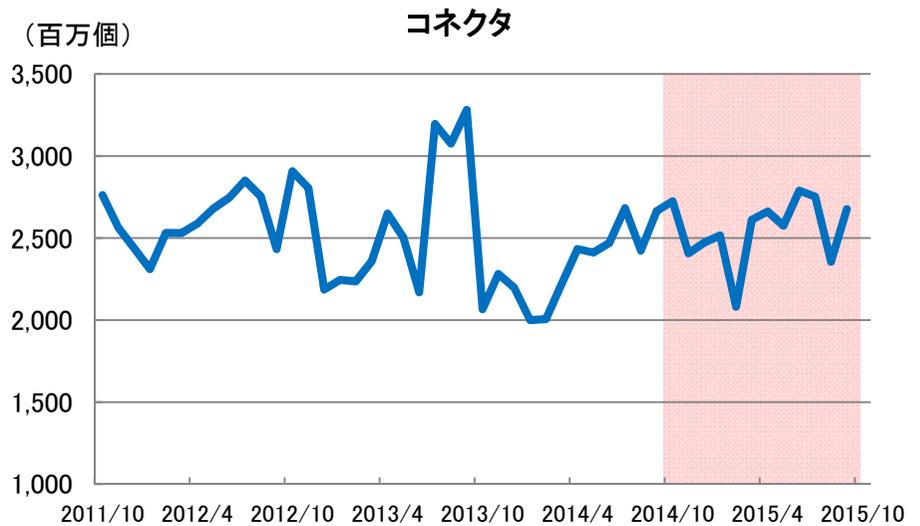
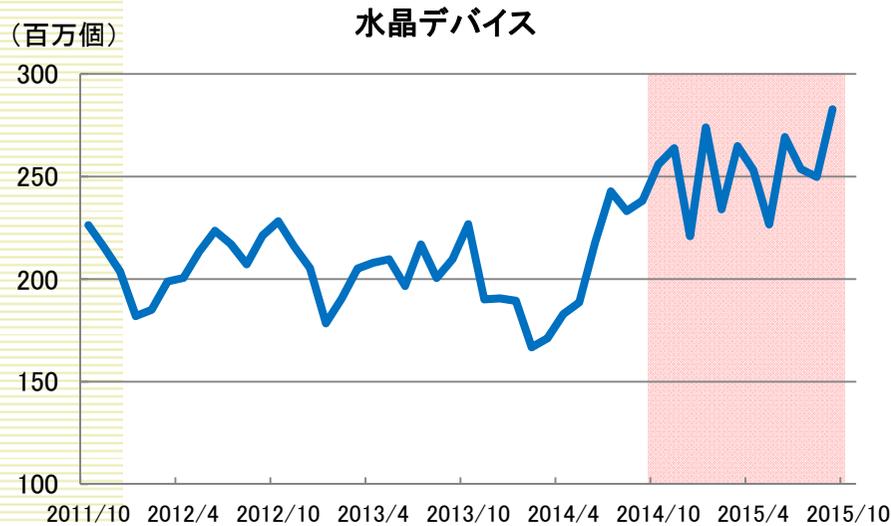
URL: <http://www.asaka.co.jp/>

# 【参考】事業環境① 鈇工業生産指数



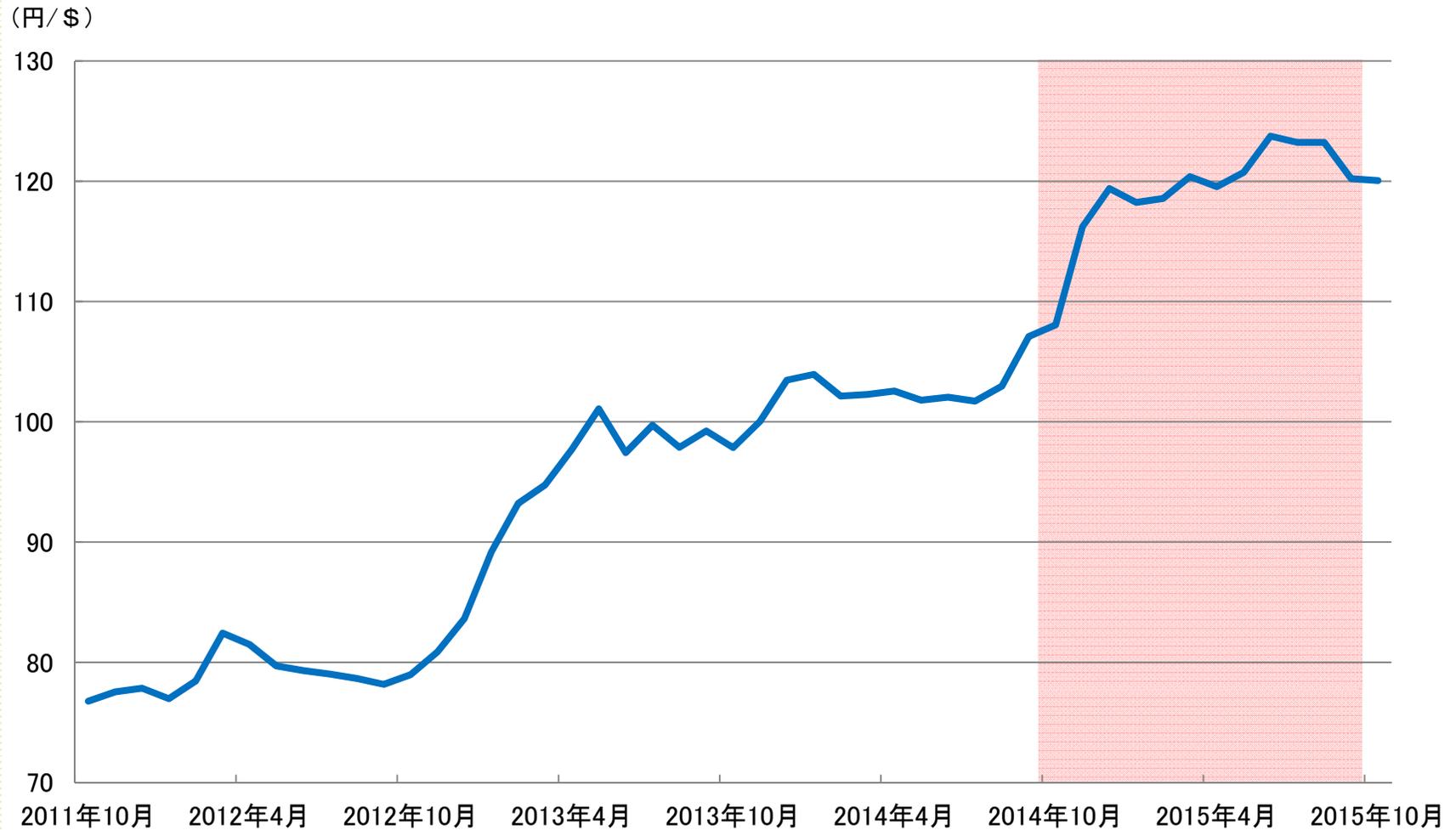


# 【参考】事業環境②業界別生産実績



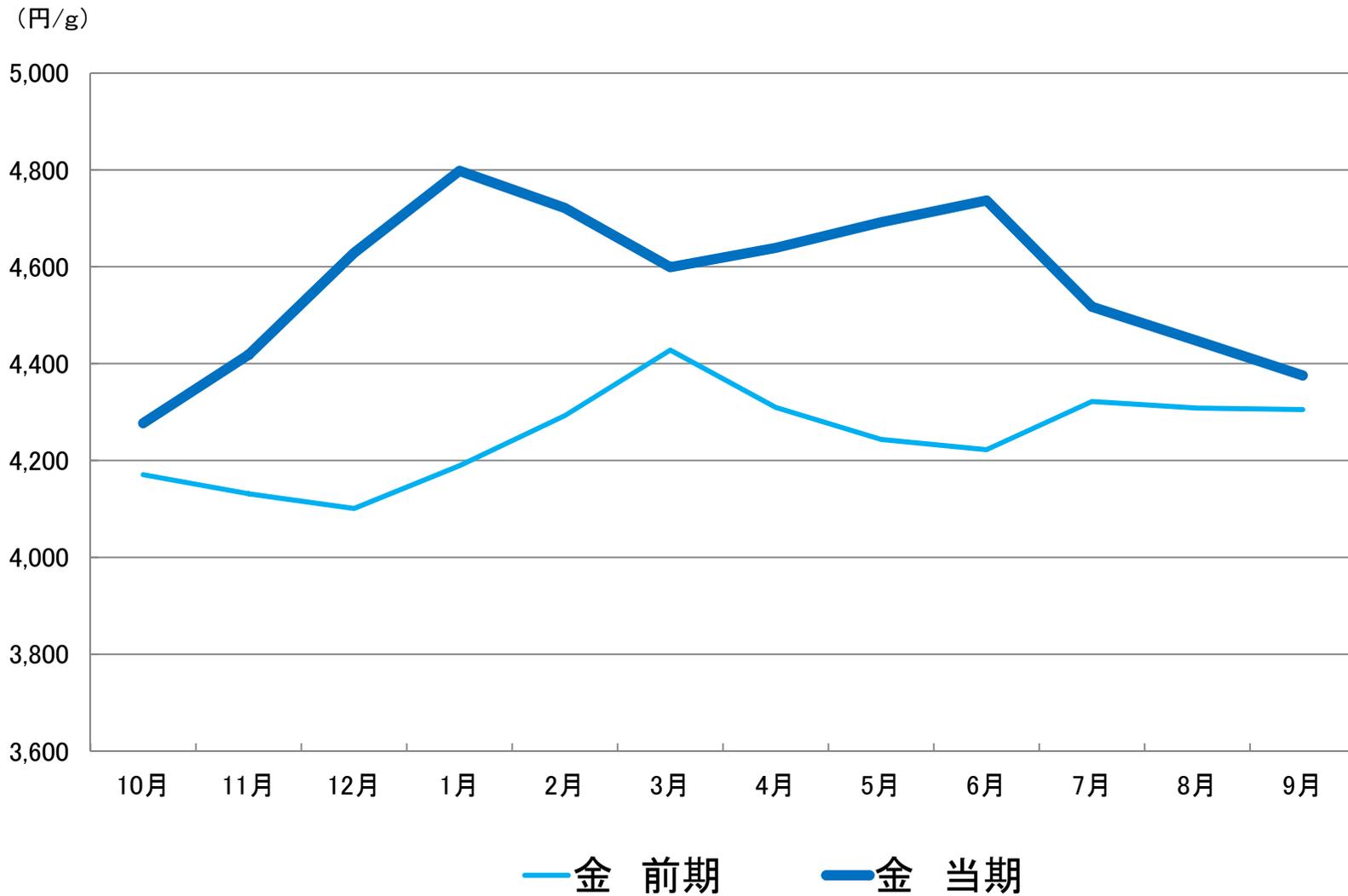
出所:(社)電子情報技術産業協会

## 【参考】事業環境③為替相場

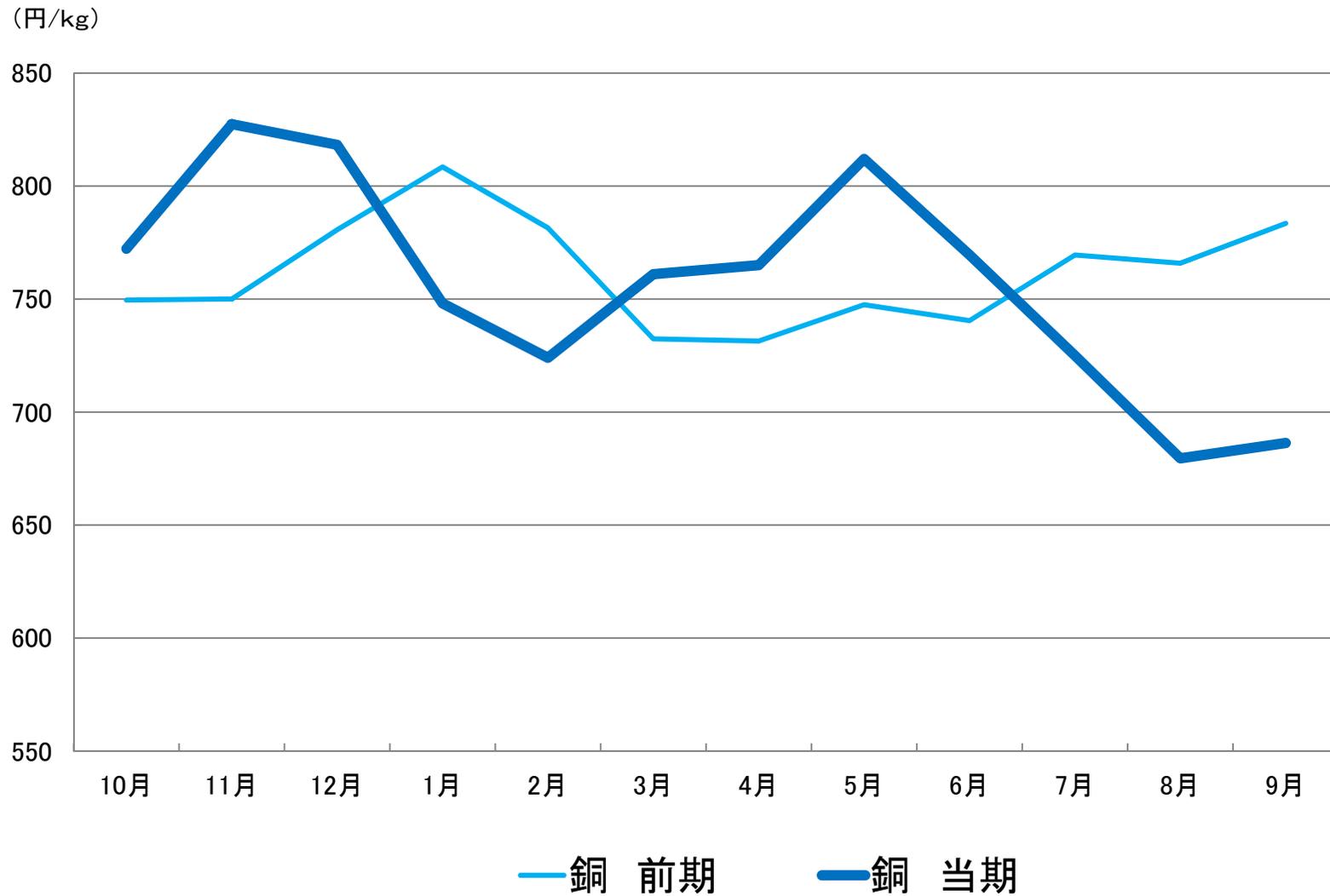


出所: 日本銀行(東京市場ドル・円 スポット 中心相場/月中平均)

## 【参考】事業環境④金価格



# 【参考】事業環境⑤銅価格



## 本資料の取り扱いについて

- 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。